

報告書〔 １ １ 〕 分析結果及びフローシート

１ ２ アセフェート

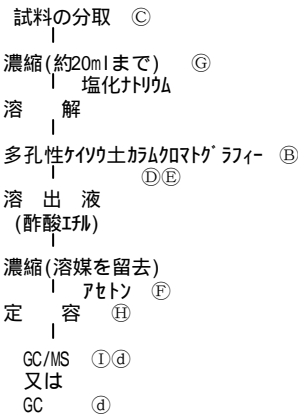
	整 理 番 号	*	*	*	国際的な認証 の取得	1 . ISO 9001 2 . ISO 9002 3 . ISO 9003 4 . ISO 14001 5 . なし
分析実施機関名						
分析主担当者名			*	分析主担当者の 経験年数	年	分析主担当者の 実績（検体数）  検体

注 １ ) 分 析 結 果 (mg/l)	標 準 偏 差 (mg/l)	測 定 回 数 ( 回 )

注 １ ) 2 回以上の測定を行  
った場合は、平均値を  
記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

< G C / M S 法 >  
< G C 法 >



< 分析法等 >

分析法	㉞ 1 . G C / M S 2 . G C / F T D 又は G C / N P D 3 . G C / E C D 4 . G C / F P D 5 . その他 ( )
クリーンアップ	㉟ 1 . ケイ酸マグネシウムカラムクロマトグラフィー 2 . ケイソウ土カラムクロマトグラフィー 3 . その他 ( ) 4 . 実施しない
試料量	㊱ ( ) m l
溶出溶媒の種類	㊲ 1 . 酢酸エチル 2 . その他 ( )
溶出溶媒の使用量	㊳ ( ) m l
転溶溶媒の種類	㊴ 1 . アセトン 2 . その他 ( )
濃縮方法	㊵ 1 . K D 2 . ロータリーエバポレーター 3 . その他 ( )
最終定容量	㊶ ( ) m l

< 分析条件 >

機器型式 ( G C ) 機器型式 ( M S ) 測定質量数 GC/MS 装置型式 イオン検出法	メーカー ( ) 型式 ( ) メーカー ( ) 型式 ( ) ㊷ ( ) ㊸ 1 . 単集束 2 . 二重集束 3 . 四重極 4 . イオントラップ 5 . その他 ㊹ 1 . S I M 法 2 . マクロマトグラフ法
カラム型式 カラム形状	メーカー ( ) 型式 ( ) ㊺ 内径 ( ) m m ㊻ 長さ ( ) m ㊼ 膜厚 ( ) μ m
カラム昇温条件	初期 _____ 温度 _____ 保持 _____ 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終 _____ 温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	㊽ 1 . N <sub>2</sub> 2 . H e 3 . その他 ㊾ ( ) m l / 分
試料注入部温度 試料注入方法	㊿ ( ) ㋀ 1 . スプリット 2 . スプリットレス 3 . コールドオンカラム
検出器温度 ( G C ) 追加ガス条件 ( G C )	㋁ ( ) ㋂ 1 . N <sub>2</sub> 2 . H e 3 . その他 ㋃ ( ) m l / 分

< 検量線の作成等 >

定量方法	㋄ 1 . 絶対検量線法 2 . 標準添加法 3 . 内標準法 内標準物質の種類 ( ) 添加量 ㋅ ( ) n g
試薬 ( 標準原液 )	㋆ 1 . 購入 2 . 自作 1 . の場合メーカー ( )
検量線	㋇ 作成点数 ( ) 範囲 ㋈ ( ) ~ ㋉ ( ) 単位 ㋊ 1 . n g ( 注入量 ) 2 . m g / l ( 濃度 ) ㋋ 最高濃度のピーク高又は指示値 ( )
試料溶液	㋌ ピーク高又は指示値 ( )
ブランク	㋍ ピーク高又は指示値 ( )

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----